

地域おこし協力隊通信 VOL.2



松川村役場 総務課 1万人復活特命係

TEL: 0261-62-3111

E-mail: tokumei@vill.matsukawa.nagano.jp





安曇野ちひろ公園FB



地域おこし協力隊のことを、みなさまにお伝えしている地域おこ し協力隊通信。第二弾となる今回も、協力隊の制度や協力隊員の 紹介を行います。(作成:地域おこし協力隊 川上 洋一)



地域おこし協力隊の活動

松川村の場合、役場が募集時から分野を定め、お およそその枠内で活動します。現在の協力隊の活動 分野は、移住定住支援や安曇野ちひろ公園での活動、 営農支援や農業支援、公民館活動と、多岐にわたり

なお、今年の5月以降、勤務時間中に、将来の定 住等に向けた活動(農産物等の生産、販売に向けた 取組み、視察等)が、月20時間を上限として認め られるようになりました。



地域おこし協力隊の制度

【雇用形態は?】

松川村の場合、嘱託職員としての採用です。 【活動期間は?】

1年ごとの契約更新で、最大3年です。

【活動経費や給与等は?】

総務省が、特別交付税により財政支援を行い ます。隊員1人あたり400万円を上限とし、 そこから活動経費や給与等に充てられます。

【定着率は?】

松川村では、まだ3年の任期を終了した隊員 はいません。統計によると、任期終了後、約 6割が同じ地域に定住しています。

【定住後の仕事は?】

カフェやゲストハウスなどの起業、就農、ま たは結婚など、様々です。



裏面では、昨年着任した2人の協力隊員を紹介します!

地域おこし協力隊を紹介します!

インタビュアー:協力隊 川上

昨年4月に着任した太田さん。高校生までは松川で暮らしていました。その後10年以上、愛知県で暮らします。いつかは松川村に帰りたいと思っていたところ、地域おこし協力隊の募集を見つけ、応募。協力隊員のなかでは、唯一のUターン者です。

現在は、すずの音ホールで、すずの音応援団を担当しています。コンサートや音楽祭など、様々なイベントのお手伝いをしているほか、公民館講座の団塊倶楽部やフレッシュ学級を担当し、視察や研修を企画しています。

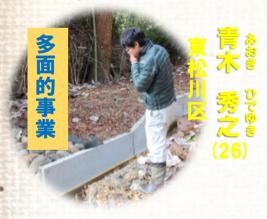
その愛される人柄から、秋になれば大和田神社で奉納相 撲のため化粧回しを締め、クリスマスが近くなればサンタ クロースの依頼が殺到します。

最後に太田さんから一言。『すずの音ホールは多くの村民に利用いただいています。多くの公民館行事にかかわり、地域の皆さんと交流することができました。これからもいろいるな行事のお手伝いをしたいです。』











同じく昨年4月に着任した青木さん。長野にすっと憧れていて、いつかは移住したいと考えていたとき、地域おこし協力隊という存在を友人から聞き、やるなら今だと思い立ったことがきっかけです。神奈川県から松川村に移住してきました。

担当は「多面的機能支払交付金」という交付金の事業。この交付金とは、農村のもつ多面的な機能(食糧生産だけではなく、文化の継承、水源の涵養、国土や自然環境)を保全するためのもの。昨年、松川村に19あった組織が1つにまとまり、その事務局員として現在活動をしています。主な業務は、交付金の申請や活動報告のとりまとめ、水路などの工事の計画の取りまとめ、発注などです。できて間もない組織となるので、体制整備の検討をしたりもしています。職場の電話は誰よりも早く取り、役場内に響く丁寧な電話対応。青木さんの人柄が表れています。農家さんたちからの信頼も築けてきたようです。

趣味はオートバイ。長野にあこがれていた理由も、道路 や景観が素晴らしく、毎年必ずツーリングに来ていたから だったりします。

最後に青木さんから一言。『この素晴らしい松川の農地、 景観を守りより良くしていく為にも、今の事業を軌道にの せ、今後も頑張っていきます!』